



2015年10月5日

報道関係者各位

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20

ディーアイシービル

**DICグループ DIC グラフィックス社が
「企業コラボアート東京 2015 公募展」に冠協賛
応募テーマは「色」！グランプリには日本橋・ディーアイシービルでの個展開催権利**

DIC株式会社（社長執行役員：中西義之）の子会社であるDIC グラフィックス株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：蓮見俊夫）は、企業コラボ東京プロジェクト 2015 実行委員会が主催する「企業コラボアート東京 2015 公募展」に冠協賛いたします。

「企業コラボアート東京 2015 公募展」は、同実行委員会が株式会社誠文堂新光社が発行する「描く人のためのメイキングマガジン“イラストノート”」を通して作品を公募し、優秀作品を表彰するもので、若手アーティストの育成と支援を目的としたものです。

当社グループは、世界 63 の国と地域で事業を展開するグローバルカンパニーであり、100 年を超える歴史の中で培ってきた色彩技術をベースとした豊富な色彩資産を有しています。

例えば、DIC カラーガイドはファッション、出版、建築など、さまざまな分野で色の指標として活用されており、国内では色見本のスタンダードとなっています。

また、化学で彩りと快適を提案する化学メーカーの象徴として DIC 川村記念美術館（千葉県佐倉市）を運営し、バロック絵画を代表するレンブラント、西欧近代絵画の巨匠モネやシャガール、アメリカ現代絵画のロスコやステラ、近世日本絵画の長谷川等伯や尾形光琳など、幅広いアート作品の展示を通して文化・芸術活動を支援しています。

このたび、当社グループにおいて主に国内の印刷インキ事業を担う DIC グラフィックス社は、色彩のスペシャリストとして「アートビジネスの新しいインフラを創る」というプロジェクトのコンセプトに賛同し、本公募展に冠協賛することにしました。

今後も当社グループは、さまざまな取り組みを通して、色彩文化の発展に貢献していく考えです。

今回、公募展の募集テーマは、DIC グラフィックス社の提案により「色」となりました。

著名な 4 名の審査員により選出された受賞作品は、11 月中旬より「企業コラボアート東京 2015 合同展」において展示されます。審査には、当社グループにおいて色彩コンサルティングビジネスおよびグラフィックデザインビジネスを行う DIC カラーデザイン株式会社のクリエイティブディレクター、周昕（大前絵理）氏が参加します。



審査員プロフィール

■中村佑介 氏

1978年生まれ。宝塚出身のイラストレーター。ASIAN KUNG-FU GENERATIONのCDジャケットをはじめ『謎解きはディナーのあとで』『夜は短し 歩けよ乙女』など数多くの書籍カバーや、近年は音楽の教科書の表紙を手掛ける。初作品集『Blue』は画集では異例の9万部を記録し、2014年中旬には2冊目の画集を発表。

■周 昕（大前絵理） 氏

中国上海市出身。DIC カラーデザイン(株)クリエイティブディレクターとして、米国、中国、日本を拠点に、グローバルブランドのデザイン提案の実績を持つ。2001年より中国・アジア市場向けCMFディレクションを数多く手がけ、上海金澤工藝館アートディレクターも務める。カラー&素材の研究を基にした色彩関連書籍の編著書、連載、講演など多数。ミラノサローネを継続的に視察し、グローバルトレンドの潮流を捉えつつ、中国と日本を中心にしたアジア各国のブランドやクリエイターを数多く取材し、アジア独自のクリエイティビティを取り上げ世界に発信している。

■田口健次 氏

新しい広告メディア「流通メディア」を仕掛けるプロデューサー。ユニクロのコラボレーション企画（企業コラボTシャツ）の仕掛人。企業コラボアート東京を中心としたMDP PROJECTを企画し、マーチャンダイジングプロダクションおよびMDP GALLERYを運営する（株）ゼルス代表。

■三嶋康次郎 氏

1962年大阪生まれ。広告制作会社を経て、2002年誠文堂新光社入社。『デザインノート』『イラストノート』『建築ノート』などクリエイターのためのビジュアルムックシリーズを立ち上げ、編集長を務める。デザイン分野だけでなく、美術、ペット、食、ビジネス、介護など幅広いジャンルの書籍の編集、プロデュースをする。『SAMURAI 佐藤可士和の作り方』『good design company 水野学』『うたう作品集（森本千絵）』『デザインの組み方』『豆腐でつくるヘルシースイーツ』『デジタル背景画の描き方』など多数発行。

以上